

出会いこそが貴重な情報源



吉澤寿康(よしざわとしやす)

阿蘇の本当の魅力を伝える取り組みに力を注ぎ、今や雲海ツアーや内牧散策の名案内人。テレビやラジオ、新聞でも活躍中の阿蘇ライダーハウス管理人・吉澤寿康さん(32歳)をご紹介します

私が、出身の広島から阿蘇へ移住して来たのは今から4年前。きっかけは2001年に務めていた旅行関係の会社を辞め、バイクで日本一周47都道府県を巡る7ヶ月の旅に出て全国を駆け巡る中、さまざまな大地で沢山の人と出会い、会話の中から地図やガイドブックに載っていない「情報」を知ること。旅の魅力とはその大地の景色、食べ物を楽しむことは勿論、実は出会いこそが、その大地の魅力をより知る貴重な情報源だと感じたことに始まります。

そんな旅で、日本一の大地と感じ自分が一番好きな大地の阿蘇。

その阿蘇をより知るため移住を決意。しかし、ただ住むだけでは以前の私同様、多くの人が阿蘇の本当の魅力を知らない。それなら、自分が気づいた阿蘇、旅の魅力を多くの方へ伝える取り組みをと、街づくりの観点から「阿蘇ライダーハウス」を立ち上げ、現在、訪れた人たちに「活きた情報」を伝えていきます。

このライダーハウスでは、ホテル・旅館と異なつた独特のスタイルで、訪れた全ての人に一人20分の受付説明を費やします。内容は館内のルール、地元の理解あつての施設だと言ふ認識。騒音、近所迷惑にならない行動を持つ内容。さらに私の手作りマップをもとに内牧温泉街の温泉、食事処、お店などの情報を説明。それをもとに街を歩いて散策する形を作る。阿蘇ライダーハウスはジュース一本販売しないスタイル。ここにはないのでなく、街に全てがあると云う観点。訪れた人は、自炊、外食、温泉など全て自由に街の中で選ぶ事ができる。又、情報を持つて街を歩くことで、バイク、車では見えない街の魅力が見え、テーマパークへと変貌。何より人とのふれあひ、地元との会話から「楽しい良い街ですね」との言葉が返ってくるのがうれしい。ただ、そんな街の魅

力づくりは一人、一店舗、一業種では成り立たない。その街全体をひとつのゾーンに見立て、ネットワークづくりを考え実行する必要を感じます。

異業種が集まり連携を図る「阿蘇どまんなか局」では事務局として阿蘇の魅力を毎日更新で全国へ発信するホームページを管理。うちのみまき案内人協会では案内人を各店一店逸品の取り組み・Tomatoとベリーな街では今年から実行委員長として商店街の皆さんと運営・活動しています。

今春より一年間、毎月一回、熊本日日新聞「風の里」コーナーへ阿蘇市でのそんな取り組みをコラムとして連載しております、宜しければご覧下さい。

今後もある資源、魅力を活かして阿蘇らしい魅力を発信して行きたいと考えます。

「阿蘇どまんなか局」

<http://www.aso-domanaka.com/>



「阿蘇ライダーハウス」

バイクで旅する人たちの宿泊所であり交流の場。3月からは内牧ショッピングセンター・コアラ横に移転されます。

水道管の凍結にご注意ください！

寒い日が続くと、水道管が凍ったり破裂することがあります。



凍結しやすいところは？

屋外にあるじゃ口や露出している水道管。特に、北側の陽のあたらない風当たりの強い場所にあるもの。

凍結しないためには露出している水道管やじゃ口に、保温材や毛布などを巻きつけるなど早めの準備をお願いします。

また、凍結のおそれがある日はじゃ口を少しあけ、水をチョロチョロ出すと凍結しにくくなります。

水道管が破損してしまったらメーターボックス内等にあるバルブを閉めて水を止め、市指定の給水工事店へ修理を依頼してください。